



完全保存版 「自然素材住宅塾」



今の住まいと将来の住まいに役立つ情報満載

新年あけましておめでとうございます！駿河屋の九代目当主一樹（いちます）です。今年はどうな年にしようと思いませんか？僕はまた1つ目標を決めました！それでは、今月も子育てママにお役にたてる、大切なこと、発信します！

【冬の時期、インフルエンザやカビやダニ、何を基準に湿度を決める？】

人は生きている間、呼吸を止めることは出来ません。しかし、毎日吸い込む住まいの空気が、ダニやカビなど微生物で汚染されているとしたらちょっといやですね。

住環境は法改正などで大きく改善されてきましたが、ぜんそくやアレルギー疾患の患者は少なくなっていないのが現状です。

シックハウスという言葉は、すでに一般的になりましたが、家をつくる建材から発生するホルムアルデヒドなどの化学物質が放出されて疾患となることだけではなく、「シックハウス」とは、もっと広い意味でのことを指すと私は考えます。

例えば、室内温度のムラだったり、湿気の多さ、カビ、ダニなどの室内微生物汚染、冬の寒さや夏の夜の寝苦しい暑さなど、室内環境が原因の健康障害を起こすものが「シックハウス」という概念に当てはまると考えます。

その中でも、室内の微生物汚染は、現代の住宅においてとても深刻なのはやはり「人の居るところには微生物も必ずいる」ということです。

強い薬で絶滅させようとしても、人間も同じ生物なので、人体にも影響が出ます。やはり、住まい手側の正しい知識と、生活改善、室内環境の改善をするための設備や家づくりを行うことで、許容できるレベルまで抑制するしかないんですね。では、そうした微生物やウイルスの繁殖を抑制するにはどうしたらいいのでしょうか。

カビは生きる為に適温がありますが、-10度から50度までと言われているので一般の住宅の年間を通した温度と同じなんです！う～ん では湿度はどうでしょう一般的に湿度65%以上で繁殖し、湿度が高ければ高いほど、繁殖速度が速まり息する種類が増えます。（*_*）想像すると恐ろしいですね～！

